

管理組合向け防災訓練ソリューション

The マンションレジリエンス

Resilience+

防災訓練 ソリューション ができた理由

■ 防災訓練ソリューションができた理由



分譲マンションの被災が多数発生

多くの住民が**在宅避難を希望**しているものの、
防災マニュアルや備蓄などが十分ではないことが判明！



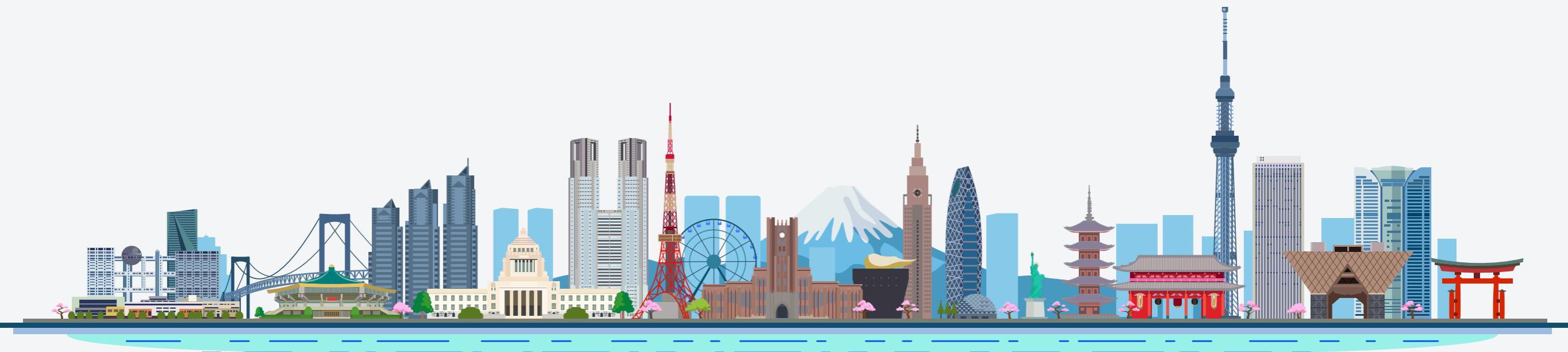
出典：国土交通省「平成28年熊本地震におけるマンションの被害状況等に関する調査報告書」（2018年）

公益社団法人 日本都市計画学会 『都市計画報告集 No.21（2022年3月）「首都圏における在宅避難に関する実態調査」』

■ マンション防災なびができた理由



首都圏の課題を解決し、備える



首都圏では**約900万人**がマンションで生活しており、
災害時にマンション側が行う
防災マニュアルや備蓄、合意形成体制が十分ではありません。

■ マンション防災なびができた理由



専門研究機関と連携した訓練

東京大学生産技術研究所附属
災害対策トレーニングセンター

DMTC

東京大学生産技術研究所附属 災害対策トレーニングセンター（DMTC）と連携し、
管理組合が「災害対策本部を立ち上げ、初動対応を行う力」を身につける
実践型防災訓練「The マンションレジリエンス」を開発しました。

訓練の概要

Resilie

■ 訓練の概要

災害対策本部を立ち上げる実践訓練



「The マンションレジリエンス」は、マンションを「災害に強い暮らしの単位」として再定義し、住民と管理組合が“実際に動く防災力”を身につける教育プログラムです。

■ 訓練の概要



おもな特徴

1 災害対策本部の立ち上げ訓練

発災直後をシミュレーションし、ICS
(災害対策本部運営手法) を実践。

2 初動行動ワークショップ

停電・断水・通信障害などの想定をもとに、
初期対応手順を参加型で作成。

3 住民間コミュニケーション訓練

近隣共助・情報共有・安否確認を促進し、
合意形成の実践力を養成。

4 DMTC監修+WAVE1運営サポート

大学研究機関の科学的知見と、現場対応力
を併せ持つ実践プログラム。



導入の メリット

Resilie

■ 導入のメリット



-  **災害対策本部立ち上げ・初動対応を理事会単位で体験的に習得。**
-  **管理適正評価制度5-4防災対策項目（訓練・マニュアル整備）の実施証拠として提出可能。**
-  **DMTC監修により、科学的・実証的な訓練内容で信頼性を担保。**
-  **オプションでお住まいのマンションを舞台に実践的な訓練の出前実施も可能。**

管理組合向け防災訓練ソリューション

The マンションレジリエンス

Resilience+